

4-6

介護の現場から、働き甲斐のある施設づくりを目指して

「このままじゃいけない。」若き職員が立ち上がった。

委員会・業務検討会

目標管理シート

特別養護老人ホーム 浮間さくら荘

介護職員 新 村 雪 峰

介護職員 友 野 章 充

東京都北区浮間3-11-26

TEL: 03-3558-5583

E-mail: sakura04@ma.kitanet.ne.jp

FAX: 03-3558-7988

URL: <http://homepage2.nifty.com/ukimasakurasou/>

今回の発表の施設
またはサービスの
概要

東京都北区立特別養護老人ホーム浮間さくら荘は入所 60 床、短期入所 5 床で北区立として平成元年 3 月 1 日に開設、通所介護、訪問介護、居宅支援事業、在宅介護支援センター併設の施設です。「笑顔ふれあい」を合言葉に毎日奮闘しています。

〈取り組んだ課題〉

○措置制度から介護保険制度へ移り変わり、平成 18 年度より公設民営型の運営から、指定管理者へ。社会の変動に伴い、運営方法も人員削減などで変化してきた結果、職員のモチベーション、介護そのものへの意欲が低下してしまった。

○介護施設全体が人材不足と離職率高の問題を抱え、社会的にもその問題が表面化している。求人募集をしても人材が集まらない現実がある。この社会現象を、施設内の分析だけではなく、人材を育てている養成校にも協力を求め、全体的な視点から解決へ向けた取り組みをした。

〈具体的な取り組み〉

○介護職員に職場環境に対して問題点と課題を明確にするため、アンケート行う。（回収率 85%）

アンケートの内容は 8 項目、「楽しい時は。」「やりがい。」「嫌になる時は。」「自分はどの評価されているのか。」「相談相手はいるのか。」「辞めたい時があるのか。」結果→人員削減などの運営に対する課題よりも「意見をどこに言っているのか。」「話を聞いて欲しい」ということで意欲の低下に繋がっていた。また、アンケートを通し課題として、①個人で取り組む課題、②施設が取り組む課題、③メンタル面を解決する課題の 3 つに分類することができた。

○意見を言える場所を充実

委員会、業務検討会を活発にする。介護職員が 1 担当制から複数担当制。小人数制から多数人数制の委員会、検討会に変更して行うようにした。

○話を聞いて欲しい

3 年前より導入されている、目標管理シートの目的を再確認し面接等に活用していく。

〈活動の成果と評価〉

○アンケートにより職員の抱えている問題点と課題が明確になり、これからの改善への参考となった。

○今までの委員会、業務検討会の人数構成を見直し、介護職員が 1 担当制から複数担当制。小人数制から多数人数制の委員会、検討会に変更した。月 1 回 1 日、委員会、検討会、会議の日を設定した結果、集中して意見を言える場が確保でき、共通の認識が増え、職員間の連携が取りやすくなった。

○目標管理シートの面接では、職員・施設双方が当該課題を積極的にとらえ、普段思っていることを素直に表現し、業務に対する目標をしっかりと持つ重要性を確認した。

○介護業務全般に対して、職員間の理解も増え考え方が明るくなった。前向きに関わることができ、職員と利用者の笑顔が増えた。

〈今後の課題〉

○課題として、3 つに分類した①個人で取り組む課題、②施設が取り組む課題、③メンタル面を解決する課題についてより明確にし、引き続き取り組みをしていく。

○交代勤務のため、委員会、検討会、会議等の連携をさらに充実していく。

○目標管理シートをより有効的に活用していく。

○離職率減少に繋がったか検証していく。

○委員会、検討会より新に出された問題点、課題の取り組みをしていく。

○養成校に求めている学校、生徒からの視点も、今後継続して協力をお願いしていく。

〈参考資料など〉